



岩下志麻  
 草刈正雄  
 横山リエ  
 加藤嘉  
 浜村純  
 郷真由美  
 土方巽  
 暗黒舞踏派  
 河原崎建三  
 河原崎長一郎  
 三国連太郎  
 監督 ■ 篠田正浩



原始日本の渾沌のなかで、エロス、政治、宗教のタブーにいとむ衝撃のドラマ

カラー作品 表現社+日本ATG 提携作品

# 卑弥呼

ひ み こ

製作 ■ 岩下 清 / 加藤正夫 / 葛井欣士郎  
 脚本 ■ 富岡多恵子 / 篠田正浩 / 撮影 ■ 鈴木達夫  
 音楽 ■ 武満 徹 / 美術 ■ 粟津 潔 / 録音 ■ 西崎英雄  
 日本ATG配給 atg



3月9日よりロード・ショー

日劇文化  
 TEL 201-2111

新宿文化  
 TEL 351-3414

## 解説

日本古代史の謎(耶馬台国)にあって絶大な権力をもっていたという女王、卑弥呼の映画化は篠田監督の十年來の念願であった。

この映画は、縄文式土器—銅鐸—国ツ神を奉ずる土着民と、弥生式土器—鏡—天ツ神を奉ずる征服民という二つの勢力の宗教的な争いにまきこまれ悲劇の生涯をとじた卑弥呼を通して日本人の根源的な美意識を描こうとするもの。

脚本は詩人の富岡多恵子。ギリシャの古典劇を連想させるようなセットは粟津潔。音楽は武満徹と名作「心中天網島」のコンビ。撮影は「薔薇の葬列」の鈴木達夫。

出演は卑弥呼に岩下志麻、卑弥呼が愛する異母弟に草刈正雄、この草刈を愛する巫女には横山リエ、長老に三国連太郎、オオキミに加藤嘉の他、河原崎長一郎と建三の兄弟、それに土方巽と暗黒舞踏派という異色のキャストである。

上映時間 一時間四十分

## 物語

タケヒコが遠い国から帰って来た。神の祭事もクニの祭事も、ヒミコの聴く日の神の言葉で行われる、このクニに……

このクニの政事はオオキミを長とし、武力にすぐれたミマキ、理性的なイクメという二人の息子と、ナシメ老人が中心となって行われていた。

狩に夢中になり森の中の神域にまよい込んだタケヒコは、そこで、タケヒコの後を追ってこのクニに来ていたアダヒメに出合った。驚ろくタケヒコを巫女を従えて現れたヒミコの視線がとらえた。夜、ヒミコはナシメにタケヒコを呼ぶように命じた。タケヒコには国ツ神の臣の娘アダヒメが、というナシメの意見を無視した。たくましい若者に成長したタケヒコはヒミコにとって異母弟であった。

タケヒコを抱きしめるヒミコの顔が女の顔に変わった。タケヒコには肉親の情から異性への欲情に

変化するには少しのためらいがあったが、肉体の若さがそれをうちつけた。

ヒミコがタケヒコを恋慕しているという噂がオオキミたちの耳に入り、ヒミコが聴いたという神の託宣にオオキミが疑惑を持ち始めた。ヒミコなくしてはこのクニの政事は出来ぬと思うナシメは策をめぐらした。

神殿で神を招くために琴をひきならすオオキミ、神がかりになったヒミコの口からでた神のおっげは、神の言葉を疑ったオオキミの死であった。もうヒミコには神の言葉は聴えぬ。琴を投げオオキミは怒った。その時、ひそかにオオキミの背後に廻ったナシメは刃物で刺し殺した。琴の上に倒れたオオキミに人々は恐れおののいた。

オオキミの埋葬が行われ、ミマキが王となった。ヒミコのもとからタケヒコを誘いだしたアダヒメは恋する想いを打ち明けた。身体ごとぶつかるアダヒメに驚ろきながらもタケヒコは次第に強く抱きしめていった。

あのタケヒコが……怒り狂ったヒミコはタケヒコの逮捕をナシメに命じた。ヒミコよ、このクニの政事はどうなる……、というナシメの声も耳に入らなかった。

捕えられ神の庭にひきずりだされたタケヒコは、瓜を剥がされ、入れ墨をされた上、追放された。そのあとをアダヒメが追った。

どのようにして国を治めるかを論争中のミマキとイクメの前にヒミコが現われ、タケヒコが国ツ神に守られて再びこのクニに現われる、と呻くようにおっげをくりかえした。

ミマキは役人に戦いの準備を命じた。

国ツ神の兵をひきいて先頭に立つタケヒコとアダヒメ、だが、戦いは国ツ神側の敗北に終わった。ヒミコの前に横たわるタケヒコの死体、驚ろきを表に現わさず見下ろすヒミコ。

ヒミコをどうするか、神殿の陰ではナシメとミマキの謀議が行なわれていた……